

景観配慮協議結果通知書

鎌都景第1201号1
令和7年（2025年）11月5日高砂香料工業株式会社
代表取締役社長 棚村 聰様

鎌倉市長 松尾

崇



次のとおり通知します。

配慮協議番号	第7-18号				
土地利用類型 の 名 称	産業地				
景観地区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外				
行為の場所 (地名地番)	鎌倉市梶原232番1ほか1筆				
行為の種類	建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 移転
	開発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更	<input checked="" type="checkbox"/> 土地の形質の変更		
特定地区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺) <input checked="" type="checkbox"/> 外				
協議事項	<p>＜地区の特性・課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な工場が立地する場所で、周辺住宅地との環境的な調和を積極的にすすめていく必要がある。 ・工場の敷地内は緑も豊富で良好な景観が維持されているものの、外部に対して閉鎖的な施設も多く、景観的な魅力の向上が求められる面もある。 <p>＜景観形成基準に係る協議内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の基調色は景観計画に適合している。 ・敷地内は適切に緑化されている。 <p>以上のことから、当該景観配慮協議対象行為は鎌倉市景観計画を理解した上で計画されているものである。</p>				
備考					